

「園見学のすゝめ」

近年、園に見学に来る方が激増しました。小一プロブレム(新小一年生が授業中に廊下に出てしまったりし、授業と休み時間の概念に欠け制御する能力に欠けている子が近年増加している問題)の問題や日本の教育レベルの低下の報道、小学校の授業時数などの増加を知り、人生で初めての学校である【幼稚園】に関心が高まっていることを日々感じております。

自園のことをすべて伝えるには毎年行う見学・説明会の2時間程度では伝えきれないのが現状です。そのため当園では、なるべく多くの方の質問や悩みなどを聴かせていただきたく、説明会とは別に、少人数にて会話をしやすい環境で園見学・懇談会を行っております。お問い合わせのあった方から順にほぼ毎日1～4組ずつで園へお越しいただいております。年々早期化、増加傾向が続き現在では年間述べ約200組以上の保護者の方々に来園していただいております。そこでは、説明会だけでは伝えきれない年間の行事や普段の保育のこともDVDで観ていただけます。当園のことを出来る限り理解していただいて、納得して入園を決めていただきたいと思います。と思うからです。

またこういったことを行っているもうひとつの理由として、幼稚園の良さを知っていただきたいという思いもあります。見学に来られたのはいいのですが、何を聞いていいのかわからない、幼稚園と保育園の違いがわからない、今まであまり深く考えたことがなかったので、なにを比べなにを判断基準にしていいのかわからない、という方が大半を占めるのが現状です。そして、園を選ぶ基準として子どもがバスを気に入ったので、子どもが遊具を気に入ったので、近所の方が通っているから、制服がかわいいから、願書受付日に行列ができるから、仕事をしていないので幼稚園がいいと思ったからただなんとなく、といった理由で入園される方もいらっしゃいました。たいへん寂しい気がしました。

これらの要因は、親だけの責任ばかりではありません。それだけ関心がなかったということは、現代の情報化社会の中で幼稚園の良さを発信する努力がまだまだ不十分だったから、と感じております。

幼稚園にいる間だけの教育では教育になりません。幼児期の教育に関し、親に関心を持ってもらい、共に教育をしていただかなければならないのです。それには親の関心と理解が必要です。

最近では、核家族化や地域社会との希薄化などにより母親は育児不安を抱えており、メディアによる情報のみが頼りという方も増えております。当園のHPを観て問い合わせや相談をしてこられる方も年々増えております。そういった方もまずはお気軽にお問い合わせください。少しでも子育ての一助になればと思います。

